

# 貸借対照表

2021年 3月 31日

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I. 流動資産	<b>111,939</b>	I. 流動負債	<b>25,222</b>
現金及び預金	96,764	買掛金	4,139
売掛金	8,732	未払金	7,396
たな卸資産	1,807	未払費用	723
前払費用	70	未払法人税等	180
未収入金	2,486	未払消費税等	8,047
預け金	2,078	前受収益	120
II. 固定資産	<b>71,873</b>	預り金	68
1. 有形固定資産	<b>63,634</b>	賞与引当金	4,547
建物及び構築物	42,919	II. 固定負債	<b>100,000</b>
工具、器具及び備品	20,714	長期借入金	100,000
2. 投資その他の資産	<b>8,239</b>	<b>負債合計</b>	<b>125,222</b>
敷金保証金	8,239	<b>純 資 産 の 部</b>	
		I. 株主資本	<b>58,590</b>
		1. 資本金	<b>45,000</b>
		2. 資本剰余金	<b>45,000</b>
		3. 利益剰余金	△ <b>31,409</b>
		(1)その他利益剰余金	△ <b>31,409</b>
		繰越利益剰余金	△ 31,409
		<b>純資産合計</b>	<b>58,590</b>
<b>資産合計</b>	<b>183,812</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>183,812</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

#### たな卸資産

- ・ 原材料 最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しておりますが、一部の原材料につきましては、個別原価法による原価法を採用しております。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 有形固定資産 定率法を採用しております。但し、建物及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物・・・・・・・・ 3～20年

工具、器具及び備品・・・・・・・・ 3～15年

### (3) 重要な引当金の計上基準

- ・ 賞与引当金 従業員の賞与に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度負担分を計上しております。

### (4) 外貨建資産負債の換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

### (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法 税抜方式を採用しております。